

第2回 令和8年度交付奈良市文化振興補助金交付審査部会会議録

開催日時	令和7年12月23日(火)午後10時から午後12時半まで	
開催場所	奈良市役所 北棟4階 402会議室	
出席者	委員	山下部会長、上田部会員、関根部会員、藤野部会員
	事務局	文化振興課：森課長、吉川課長補佐、荒益課長補佐、藤井振興係長、杜、山田
開催形態	公開 (一部非公開)	(非公開の理由) 奈良市情報公開条例第29条第1項第3号
		非公開の具体的な理由等
議題	補助金の交付要望があった事業の審査・採点を行うため。	
	令和8年度交付 奈良市文化振興補助金二次審査	
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> ・都市文化推進支援事業（広域参加型）について、要望があった5事業を審査し、5事業すべてを交付候補事業とすることを決定した。 ・都市文化推進支援事業（国際発信型）について、要望があった1事業を審査し、交付候補事業とすることを決定した。 	

議事の概要

- 1 令和8年度交付奈良市文化振興補助金 都市文化推進支援事業 二次審査について
奈良市文化振興補助金交付審査要領第4条に基づき、採点を行った。結果は以下のとおり。
 - ・都市文化推進支援事業（広域参加型）について、要望があった5事業を審査し、5事業すべてを交付候補事業とすることを決定した。
 - ・都市文化推進支援事業（国際発信型）について、要望があった1事業を審査し、交付候補事業とすることを決定した。

2. 部会員からの意見

(応募団体、事業に関する意見)

- ・補助金を活用する事業としての公益性や公共性については、事業の内容や取組の中で示されているものの、申請書や説明資料においてその目的や意義をより分かりやすく整理して示していくことが重要である。
- ・継続年数の長い事業については、これまでの成果や実績が一定程度認められる一方で、当初の目的と現在の事業内容との関係をあらためて整理し、今後の方向性を明確にしていくことが期待される。
- ・集客や協賛金の確保など、自立に向けた取組については、各団体において工夫が見られるものの、今後はより多様な関係者が関わる形で事業を展開していくことが、継続性の観点から重要である。

- ・事業規模や委託料等の支出と、来場者数や事業成果との関係については、費用対効果や全体のバランスを意識しながら事業を構成していくことが望まれる。
- ・人材育成や後継者確保については、多くの事業で重要な視点として位置づけられており、今後は中長期的な体制づくりを見据えた取組へと発展していくことが期待される。
- ・海外や市外との交流を掲げる事業については、国際性や発信力の面で意義が認められるが、奈良市で実施することの意味や、市民との関わりを意識した展開を進めていくことが重要である。